

令和3年度 福井市国見小学校 スクールプラン



めざす児童像

- ・進んで学ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・元気な子

<教育推進のポイント>

- 隣接小中学校による9年間教育の推進
- PDCAによる学校改善
- 家庭・地域との協力的体制構築

福井市学校教育目標

「郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きるこどもの育成」
確かな学力の向上 **豊かな心の育成** **健やかな体の育成**

学校教育目標

ふるさとを礎に 生きる力を育む
夢と志を抱く児童の育成

学校教育目標の背景

- 【地域の願い】コミュニティとしての学校に
- 【保護者の願い】基礎学力 国見を愛する子
- 【教師の願い】少人数に負けない学校づくり
自立した児童に
- 【学校の特色】隣接小中学校 協力的な地域
- 【児童の実態】個性豊か 固定化しがちな人間関係

「自ら考え 判断し 行動する 自立した児童の育成」

～ 夢や目標の実現に向けて見通しを持ち 努力を続けるための支援はどうあるべきか～

【重点目標と具体的取組み】

確かな学力の育成

- ◎主体性を育てる課題解決的な授業
- 学習の基礎基本の定着
- 学習ルールによる学習基盤の確立

研究主題

主体的に学ぶ子の育成
 ～課題を見つけ解決しようとするしかけづくり～

- ①主体的に学ぶ子を育成する授業
 - ・主体的な学びを引き出す授業づくりの工夫
- ②基礎基本を定着する取り組み
 - ・よりよく理解する学びのプロセス
 - ・国見漢字・計算検定の定着
- ③小中共通の学習ルールと読書の推進
 - ・学習ルールの設定と確かな実践
- ④NIE教育・読書教育の推進

【数値目標】

- ・学びを深める研究である 職員100%
- ・漢字・計算検定で合格できる 児童90%
- ・学習ルールが定着した 職員90%
- ・新聞や読書に親しませることができた 職員90%

豊かな心・健やかな体の育成

- ◎夢を育むキャリア教育の推進
- フォロワー・リーダーシップの育成
- 強い意志による健康・体力の向上
～自己有用感と自己管理能力～

①キャリア教育の推進

- ・夢や目標に向かって努力を続ける力
- ・総合学習、学校行事、学活の連携

②フォロワー・リーダーシップ

- ・いじめのない認め合える集団づくり
- ・思いやりがあり高め合える縦割り活動

③道徳教育の推進

- ・親子で考えることができる道徳教育

④健康・体力の向上

- ・体力を向上させようとする意欲の向上
- ・苦手な種目にチャレンジしようとする意欲の向上

⑤考え方を広げる読書活動の推進

【数値目標】

- ・将来の夢や目標を持っている 児童100%
- ・充実した縦割り活動 児童90%
- ・親子で道徳について考えた 児童90%
- ・様々な運動にチャレンジできた児童90%

信頼される学校づくり

- ◎家庭・地域との対話・連携
- 郷土を愛する心の育成
- 地域・保護者に自立した児童の姿を

①家庭・地域との協働の推進

- ・家庭や地域と対話による学校改善
- ・家庭と連携した児童の生活や学習習慣の向上
- ・不登校を出さないような家庭との連携
- ・ネット利用、情報モラル教育の推進

②郷土を愛する心の育成

- ・地域各種団体との交流
- ・伝統や文化の継承
- ・地域振興への発信(地域体験事業)

③教育活動の理解と連携

- ・教育活動が分かる学校だより
- ・ホームページでの情報発信

④自己肯定感の育成

- ・達成感を味わうことで自信を持ち、自らチャレンジしようとする意欲の向上

【数値目標】

- ・学校に気軽に相談できる 保護者80%
- ・地域と連携した教育実践ができた職員90%
- ・学校は教育活動を伝えている 保護者90%
- ・国見地区が好きである 児童90%

協働する組織づくり

- ◎育てたい子ども像への実践
- 共通理解を図る現職教育
- 児童理解の充実
- 資質向上を図る実践

①職員の共通理解の促進

- ・めあてや手だての確認と実践
- ・終礼や職員掲示板の活用
- ・月曜日は会議や協議の日
- ・気がかりな児童への配慮
- ・人権意識の高揚

②PDCAによる改善サイクル推進

- ・学校教育活動の評価
- ・学校評価との連動
- ・視点を明確にした授業研究

③授業研究や自校研修の推進

- ・課題を解決しようとするしかけづくり
- ・研修内容を職員に広める活動

【数値目標】

- ・共通理解が図れ、「チーム学校」「チーム国見」で対応できていると感じる 職員100%
- ・PDCAによる改善サイクルができていくと感じる 職員90%
- ・課題を見つけ解決しようとするしかけづくりをした 職員80%

【働き方改革の取り組み】

- ・PDCAサイクルによる教育活動の評価・精選
- ・ゆとりある時程・月1回定時退勤・勤務時間の意識

＝ 期待する成果 ＝

- <児童> 目標やめあてに向かって、最後まであきらめずに取り組もうとする。
- <教師> 児童理解や情報共有に努め、その後の指導に生かすことができる。

＝ めざす学校像 ＝

児童と教師がともにやりがいの
ある、いきいきとした学校